

## 令和元年沼津市教育委員会第4回定例会会議録

1 日 時 令和元年8月22日（木） 午後3時30分～午後4時35分

2 場 所 沼津市文化財センター 会議室

### 3 日 程

(1) 開会

(2) 会議録署名人の指名（川口委員 土屋委員）

(3) 教育長報告

(4) 議案

議第22号 平成30年度沼津市教育委員会事務点検評価について

議第23号 第34期沼津市社会教育委員会への諮問について

(5) 協議

なし

(6) その他

1) 沼津市立門池小学校新南西校舎の完成について

2) 小学校普通教室等のエアコン使用開始について

(7) 報告

1) 平成31年度全国学力・学習状況調査について

### 4 出席者等

教育長 奥村篤、教育長職務代理者 川口浩史、委員 三好勝晴、委員 土屋葉子、委員 重光純、教育次長 芹澤一男、学校教育課課長補佐 山田弘樹、教育企画課長 金子昭人、学校管理課長 佐藤高志、教職員研修センター所長 川口郁代、市立沼津高等学校長兼中部校長 清水正信、市立沼津高等学校事務長 大沼政彦、図書館事務長 勝又恵三、生涯学習課長兼ゆめとびら舟山所長 高橋義久、学校教育課副参事兼青少年教育センター所長 糸川祐一、文化振興課長 原将史、文化振興課課長補佐 鶴田晴徳、スポーツ振興課長兼副参事（新市民体育館建設準備担当）兼勤労者体育センター所長 山岡慶博、調整担当 中澤芳子、教育企画課長補佐 後藤寿代、教育企画課指導主事 加納真、教育企画課主査 飯田彩美、教育企画課副主任 村松大輔

### 5 会議内容

(1) 開会

奥村教育長が午後3時30分開会を宣言する。

(2) 会議録署名人の指名

奥村教育長より、会議録署名人に川口委員、土屋委員を指名する。

奥村教育長より、本日の会議は公開とするが、報告事項の案件は公表前の事項であるため、非公開とすることを委員に諮り、了承される。

傍聴人 0人

(3) 教育長報告

奥村教育長

残暑お見舞い申し上げます。まだまだ暑いですが、日の出、日の入りの時間が変わってきて、秋がそこまで来ているように感じる。夏休みはいかがであったであろうか。

それでは、前回の7月の定例会後から8月にかけての事項の教育長報告を行う。

前回の定例会の日、7月18日は、京都のアニメーションスタジオの火災により35名もの方の命が失われ、33名もの負傷者が出た事件があった。非常に衝撃的で、遺族の方々を思うと、大変胸が痛む。ご冥福をお祈りする。そこから3日後の7月21日には、大岡駅付近の飲食店で殺人未遂事件があった。我々も子どもと先生の命を守るといことと、安全を最優先に、各学校へ緊急対応をお願いした。私の元に連絡があったのが午後9時過ぎ、その後各学校への連絡が行き届くのに10時近くになってしまったが、各学校とも速やかに対応し、特に事件現場に近かった校区では校長同士で検討をし、10校、また市立高も休校ということとなった。沼津警察署長からも、各学校の協力に感謝しているとの連絡があった。容疑者が早期に逮捕され、1学期の終業式を迎えることができ、夏休みに入った。そうすると思い出されるのは、今から18年前の2001年6月に起きた大阪教育大学附属池田小学校の事件で、死者が8名、そして負傷者が15名であった。いまだに当時の児童、教員、保護者の精神的ショックは消えていないと聞く。決して風化させてはいけなと改めて思ったところである。来週2学期がスタートする。危機に対して、子どもも教員も自ら回避できる、そういう力を身に付けるような取組を、具体的な場面、緊迫感を想定した上で繰り返し行ってほしいことを、今後も校長会で伝えていきたいと思っている。

日が前後するが、7月19日には、文化振興課長とともに東京で「幕末建造スクーナ型帆船『ヘダ』」のふね遺産認定の授賞式に参列した。ヘダ号は現存しないが、ふね遺産の認定基準が変わって現存しないものでも認定されることとなった。翌日に、戸田造船郷土資料博物館の開館50周年記念式典があり、市長、ロシア大使館公使、県副知事、下田市長、富士市副市長、プチャーチンの一族が生まれ育った州の方が10数人参加され、非常に国際色豊かな式典となった。土屋教育委員もロシアの方が来られるとのことで、和服で参列いただいた。午後は、戸田まつりに参加した。

また、7月26日金曜日には、事務評価委員会が開催された。事務評価委員も3人中2人が新しく委員となり、平成30年度の教育委員会の事務について、それぞれの立場から貴重な意見をいただいた。教育委員会として、家庭教育、学校教育、社会教育と広い分野で多くの課題に取り組んでいき、よりよい教育環境の整備に向け、改善していこうとする姿勢を評価していただいた。後ほど議案として取り上げる。

8月2日には、沼津市災害対策本部運営訓練が市役所危機管理センターにて行われた。実際に起こったような想定のもとで、次から次へと報告が上がってきて、その振り分けを危機管理監が一人で行うのは無理だということが訓練でわかった。実際に避難所が満員で、市内で対応しきれないとなった時にどうするか、場所を考えて三浦地区であれば伊豆方面に要請するか、富士市から避難所要請があったら、浮島あたりに避難所が空いていないか確認するか、優先順位の判断ということと同時に多くの救助要請がある中で行うことになり、年齢、状況、人数、場所などそれぞれ想定して訓練を行った。また、ひとつの地区の状況から他の地区も同様であ

ろうかというような想定をしたり、被災後にボランティアの受け入れを誰がどのようにやっていくのかということがわからなかったといったことが課題として捉えられたり、会場が狭くてあちこちで情報が錯そうしてよく聞き取れなかったということもあった。そういう点を踏まえて、今後に生かせるような訓練であったと思う。記者会見の訓練もあった。

来週26日の月曜日からは、市内小中学校は2学期がスタートとなる。夏休み中の小中学生についての大きな事故などはない。

中体連であるが、まだ全ての競技が終わったわけではなく途中経過であるが、お知らせする。  
(東海大会などについて、途中経過の報告)

8月の出席行事、出席予定について報告は以上とする。

#### <議案>

奥村教育長 日程(4)議案に入る。

#### 議第22号 平成30年度沼津市教育委員会事務点検評価について

<地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき実施した、平成30年度の沼津市教育委員会事務の点検・評価について。>

(教育企画課長 資料に基づき説明)

奥村教育長 説明が終わったが、本件に対する御質問、御意見はいかがか。

三好委員 4頁の(2) ②教育委員会と首長との連携 が「B」「改善」という評価となっている。これは教育長と市長とはやり取りされていると思うが、ここでは総合教育会議以外で教育委員会と市長とのやり取りを想定したものであるという認識でよいか。

奥村教育長 この項目について、少し詳しく事務局から。

教育企画課長 この項目は、特に「教育委員が」「教育長が」という区別でなく教育委員会と首長との連携についてであり、現在、定例的に会議の場を持っているわけではない。常勤の教育長においては案件により市長と協議をすることもあるが、昨年度は総合教育会議について教育委員会として市長と事前に協議をしたり、顔合わせの場で協議をしたりした。もう少し定例的でなくても協議をする場が持てたらということも考え、「B」おおむね達成しているが、「改善」改善しながら検討していく事業と評価した。

三好委員 市長との話し合いが足りないということか。

教育企画課長 もう少し機会を持てればと思う。

奥村教育長 その上の①総合教育会議の実施 は、「A」となっているが、これは、その前の平成29年度は一度も開催されなかったが、平成30年度は1回開催されたことにより「A」ということでよいか。

教育企画課長 そのとおりである。

奥村教育長 そのほかにいかがか。

川口委員 6頁の(2)幼児教育 ②幼児教育をつなぐ の項目は、「A」「改善」となっていて、12頁のところでは評価委員会の意見に「主に幼児教育に関わることについて」、「幼保小の連携については、何十年も前から言われ続けてきているが、



議第23号 第34期沼津市社会教育委員会への諮問について

＜社会教育委員会への諮問について、その内容とその理由について。＞

(生涯学習課長 資料に基づき説明)

- 奥村教育長 第34期社会教育委員会の委嘱を先日行ったところであるが、第33期社会教育委員会のメンバーと同じ委員となるか。
- 生涯学習課長 公募による委員など、変更があった。
- 奥村教育長 第33期社会教育委員会からの答申の内容に関連し、継続的に行うものとしたということである。御意見等いかがか。
- 三好委員 前提として、「学校を取り巻く環境として地域の人材を集めて子どもを守っていこう」とするよう動いているが、地域そのものが逆の方向にあるのではと心配している。社会教育委員会でも共通認識を持っていると思うが、例えばPTAでも役員の担い手がいない。他人事になってしまっている。自分の子どもたちが通っている学校が、親と先生と協働することでよりよい環境を作ることがPTAの役割。自分が役員をやりたくないから、そういうことは子供会も同じことで、沼子連からの脱退が顕著である。そういう中で、再構築していかなければならないので、皆、同じような認識であると思うが、そういった前提の下で新たな意見を出していただければと考える。
- 生涯学習課長 社会教育委員会の委員には、沼子連の役員などがいる。私たちもそれぞれの団体と常に連絡を取っているところではあるが、市P連としても組織改革を進めているところであるし、子供会も、沼子連から脱退する単子（単子子供会）が増えていることから、現在の体制であることの難しさは認識しているところではある。今後、体制の再構築、再検討に向けて、社会教育委員会として地域との結びつきをどのように深めることができるか、人材発掘ができるのかということ、**「子どもを地域で育てる」**というテーマから地域の再結集を図りたいというところに社会教育としては効果があるのではと思っていますので、そういう視点から答申を頂きたいと思っている。
- 奥村教育長 地域の次代を担うのは子どもたちであるので、先程話したように子育て支援課との連携とともに、地域自治課とか首長部局との連携が必要であり、生涯学習課だけが頑張っても限界がある。第33期、第34期と連動するような諮問ということである。
- 三好委員 今まであったものがなくなったからまた作ろうということではなくて、違う切り口でないと難しいのではと思う。でも人は一人では生きられないから、家族があって、町内があって、市があって、県があって、国があって、世界がある。そのことをわかって、自分勝手にではなくて、大きく捉えられるといい。
- 川口委員 地域も人材不足で、自治会にしても、自分が関わっている社会福祉の分野でもボランティアが高齢化していて、次を育成したいがなかなか集まらないという現状があると聞いた。教育のことだけではなくて、地域にとって大きな課題と考えている。いい意見が出てくるといい。

奥村教育長 議第23号 第34期沼津市社会教育委員会への諮問について、原案どおり諮問  
するということによいか。  
各委員 異議なし。  
奥村教育長 異議なしと認める。  
議第22号について、原案どおり沼津市社会教育委員会に諮問することに決  
する。

<協 議>

奥村教育長 日程（5）協議事項は、本日は案件なし。

<その他>

奥村教育長 それでは、日程（6）その他、何かあるか。

- 1) 沼津市立門池小学校新南西校舎の完成について  
＜学級数の増加に対応するため平成30年度から建築していた新南西校舎の完成について。＞
- 2) 小学校普通教室等のエアコン使用開始について  
＜先行して整備を進めていた小学校でのエアコンに関し、使用を開始することについて。＞  
(学校管理課長 資料に基づき説明)

奥村教育長 説明が終わったが、本件に対する御質問、御意見等はいかがか。  
エアコンについては、特別教室が広いので部屋数に対して台数が多いことは  
わかるが、普通教室についてもどこか1部屋に2台整備されたところがある  
ということか。

学校管理課長 各学校により教室の大きさが異なる。また、3階の西側はやはり暑いので、  
1台では冷えずに2台整備したところがある。

川口委員 子どもたちは大変楽しみにしていた。

三好委員 始業式で登校したら、子どもたちは「わあ」と喜ぶのではないか。

川口委員 そうなと思う。

重光委員 エアコンは、誰がどのように点けるか。部屋ごとか。

学校管理課長 エアコンの操作は、全て教職員が行うこととする。職員室に集中管理のモニ  
ターがあり、そこで風向きなどが調整できるが、各教室にも個別のリモコン  
がある。ただ、そこで子どもたちがいじるのはよくないので、オン・オフし  
かできないこととなっている。

奥村教育長 使用上のマニュアルなどが出来ている。

学校管理課長 そうである。

三好委員 電気代はどのくらいを見込んでいるのか。

学校管理課長 エアコン使用に係る小学校の電気代は、今年度は9月、1月、2月しか使用  
しないことになるが、来年度以降全て設置すると年間で2,700万円くらい。中  
学校は1,300万円くらいを見込んでいる。

三好委員 それだけ毎年必要になってくるということ。

奥村教育長 ほかにあるか。では、本件について以上とする。

三好委員  少し伺いたいですが、小学校などで気温35度になったところで屋外活動をしない  
  ということは、沼津市の決まりなのか。プールもやらないと聞いた。中学校  
  では部活動も。

奥村教育長  部活動もそうである。

三好委員  これは県下同様の取り扱いか。

奥村教育長  文部科学省から通知が届いている。  
  去年からは中体連でサッカーなど試合の途中にウォーターブレイクの時間を  
  とったり、体育館で行われる卓球でも空気を入れ替える時間をとったりして  
  温度、湿度などに注意している。そのほかにかがが。  
  では次の議題に移る。

---

報告事項1については公表前の事項であるため、当日は非公開としたが、公表済みの事項となっ  
たため、公開する。

<報 告>

奥村教育長  それでは、日程（7）報告に入る。

1) 平成31年度全国学力・学習状況調査について

<平成31年4月に実施された全国学力・学習状況調査の結果の第一報について。>  
(教職員研修センター所長 資料に基づき説明)

奥村教育長  分析はこれからというところである。説明が終わったが、本件に対する御質  
問、御意見等はいかがか。9月と10月の検証改善委員会の後、また報告を行  
う予定である。御意見等ないようなので、本件は報告を受けたということで  
御了承願う。  
  その他、何かあるか。  
  ないようなので、以上をもって本日の定例会を終了する。

午後4時35分 閉会